

# 若年性認知症支援コーディネーターが職場をサポートします

支援コーディネーターの活用は、職場の負担軽減、本人の就労継続につながります

## 職場



あれ？何か変だな

認知症かな？



A

認知症の可能性についても考えましょう

- 家族よりも先に、本人や職場が異変を感じるがありますが、初めは「うつ」と間違われる場合が多い
- 認知症の可能性のサインをチェック



認知症かもしれない

認知症疾患医療センター



B

速やかに医療機関への受診を勧めましょう

- 産業医や健康管理担当者などへ相談
- かかりつけ医や認知症を専門に診る医療機関「認知症疾患医療センター」への受診勧奨



どのような業務が安全にできますか？対応方法、接し方が分かりません

地域障害者職業センター



C

職務内容や雇用・勤務形態の見直し、配置転換、他の従業員への配慮など職場内外のサポート体制を構築しましょう

- 病気とともに働くことを支援する「地域障害者職業センター」や「ジョブコーチ」の活用



生活面についても心配です

障害者就業・生活支援センター



D

安定した生活は就労継続に大切なため、外部の支援機関を活用する方法もあります

- 仕事と生活の一体的な相談・支援を行う「障害者就業・生活支援センター」の活用

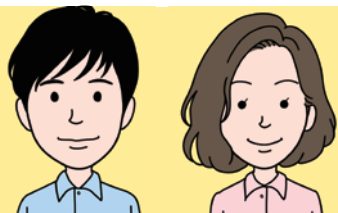
就労継続や経済面で利用可能な制度・サービス

職場

- 障害者雇用枠での雇用
- ハローワークなどで助成金申請

本人

- 精神障害者保健福祉手帳の取得
- 傷病手当金
- 自立支援医療
- 障害年金の受給 等



若年性認知症支援コーディネーター



若年性認知症支援コーディネーター一覧

## 若年性認知症支援コーディネーターのサポート内容

- 若年性認知症の本人、家族、企業などからの相談に中立的に応じます
- 認知症と疑われる時期から相談可能です
- 医療機関の受診への同行、状況に応じて適切な制度やサービスの情報提供、手続きのサポート、上記のような医療や就労などの支援機関と連携して、支援が円滑に行われるようにします



## 職場の声

本人



認知症と診断された直後は頭が真っ白になり、不安と絶望感でいっぱいでした。支援コーディネーターが仕事や今後について、相談に応じてくれ、安心しました

上司



支援コーディネーターが職場で認知症の症状や業務の工夫などを説明してくれて、周囲の理解が深まりました

同僚



病気とともに働く姿から勇気もらい、これからもこの職場とともに頑張っていきたいです